

# コンテンツ構築

機関リポジトリ新任担当者研修テキスト

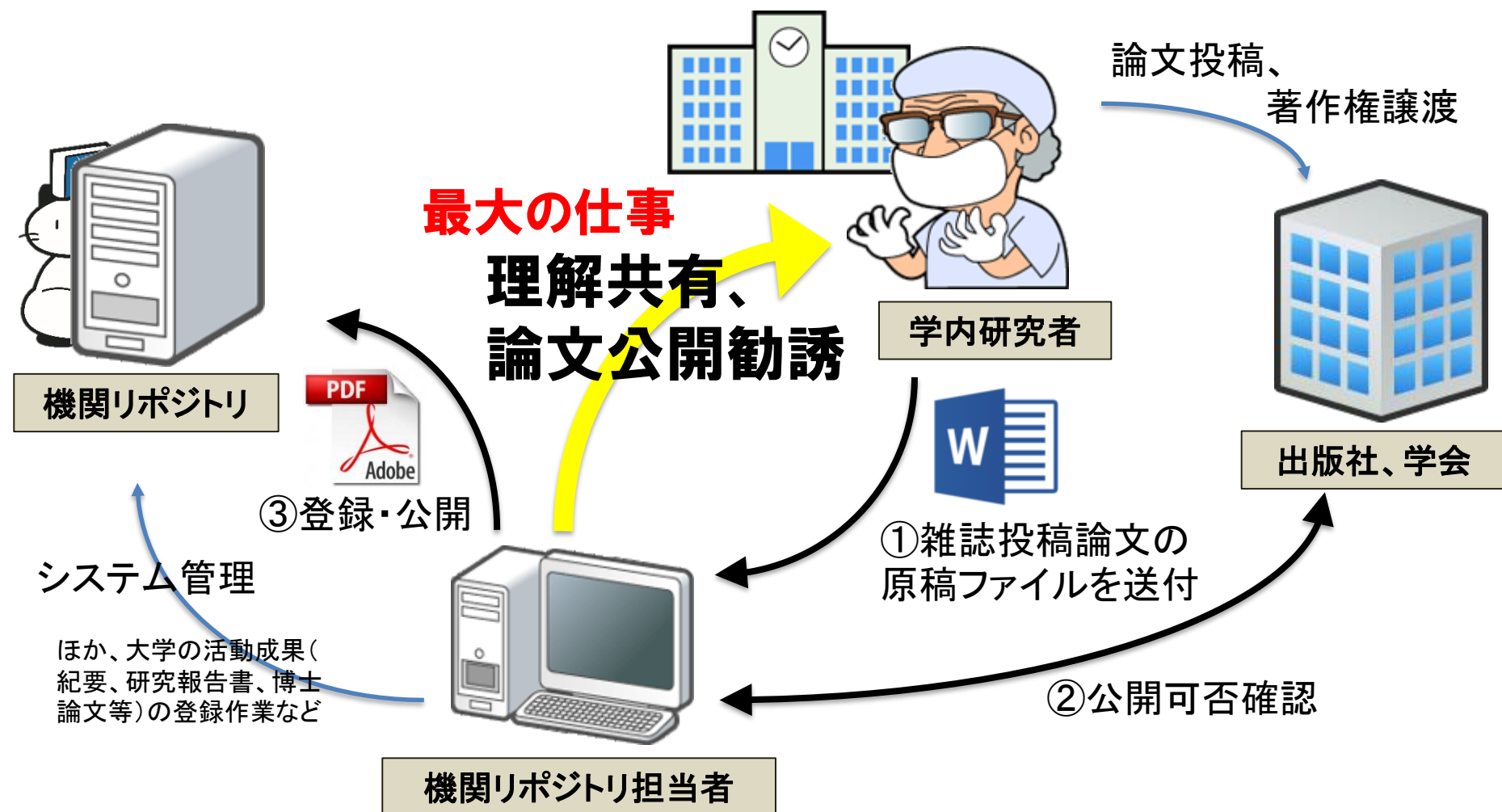
機関リポジトリ推進委員会

平成28年度

# 本講の内容

- 機関リポジトリのコンテンツとは
- コンテンツ収集：教員への広報
- さいごに
- 模擬説明会へ・・・

# 機関リポジトリ業務とは



# 機関リポジトリのコンテンツとは

- 所属研究者の研究成果と機関の活動成果
  - 学術雑誌掲載論文、学会発表資料、記事、コラム、サイエンスデータ、ビデオ、音声、教材、紀要、学位論文
- コンテンツは増え続けるもの
- メタデータ(論文情報)だけのデータベース構築ではない。本文があつてこそ。

# コンテンツの2タイプ

	個別モノ	一括モノ
代表的なコンテンツの例	学術雑誌論文、 学会発表資料、...	研究紀要、学位論文、 科研報告書、...
性格	所属研究者の研究成果	機関としての活動成果
出自	外で刊行	大学が刊行
対象物	そもそも把握しづらい	把握しやすい
アタック先	個々の教員	編集委、教授会など
収集範囲	教員の手元にしかない。過去のも のはあまり残っていないので、目標 をカレント分に絞らざるを得ない	初号から最新分まで組織的に。バックナ ンバーは刊行元か、あるいは書庫所蔵 分のスキャンも。あとはアイディア次第
コストと効率	主として人的コスト。 がんばってがんばってがんばって やっと少しずつ集まる	主としてスキャン経費。 電子化の主体的意志をうまく喚起してIR 事業と接続し、作業ベースに落とす
IRの持続性への意義	教員ひとりひとりのIRへの理解と支 持は事業継続の土台	いったん開拓できれば安定的なコンテン ツ流入ルートに
いずれも	コンテンツの持ち主との対話、プロモーションがすべて	

# 学内コンテンツ：紀要類

- 主な調整先：紀要編集委員会
  - 電子公開の主体は紀要発行母体、図書館は場所貸し（「図書館に持ってかれる」印象を与えないこと！）
- 新刊分： **ボーンデジタルで！**
  - 編集・査読プロセスそのものを電子化
  - 印刷業者からPDF納品
  - （改めて紙からスキャンすることがないよう）
- バックナンバー
  - 権利処理（事例）
    - 著者ひとりひとりに許諾
    - 投稿規程を過去に遡って適用
    - HPや紀要、メール等でお知らせ
  - スキャン（事例）
    - H大 スキャンのみ5円弱/p(3万ページ), メタデータ100円/件
    - O大 スキャンOCRつき 15円/p(1万5千ページ)

# 学内コンテンツ：学位論文

- 主な調整先：教務、学位審査委員会
  - － 抜刷で学位申請するケース
  - － 特許取得、出版予定との関係
  - － 博論、修論、卒論／誰の／どこでとった？
- 新規授与分
  - － 義務化（本文は著者に公開義務）
  - － 事例：教務に提出・図書館は登録公開するだけ、  
図書館で著作権調査を請け負う
- 過去の授与分
  - － 解体再製本費用

# (参考)学位規則(昭和二十八年四月一日文部省令第九号)抜粋 <平成25年4月1日施行>

- 第八条 大学及び独立行政法人大学評価・学位授与機構は、博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から三月以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。
- 第九条 **博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から一年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。**ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。
  - 2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、**やむを得ない事由がある場合には、**当該博士の学位を授与した大学又は独立行政法人大学評価・学位授与機構の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の**全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。**この場合において、当該大学又は独立行政法人大学評価・学位授与機構は、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。
  - 3 博士の学位を授与された者が行う前二項の規定による公表は、当該博士の学位を授与した大学又は独立行政法人大学評価・学位授与機構の協力を得て、インターネットの利用により行うものとする。



# 学位論文登録の参考資料

- DRF平成26年度 機関リポジトリ担当者オンライン勉強会「博士論文のインターネット公表」
  - <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?onlineworkshop2014>
- DRFメーリングリスト
  - <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drfml/> （過去のアーカイブから検索可）
- 博士論文のインターネット公表化に関する現況と課題（報告）
  - <http://id.nii.ac.jp/1280/00000131/>

# 参考：大学出版会の学術書

- 主な調整先：大学出版会
  - － 外部組織である出版会とお話をする機会に
  - － コラボレーションの事例（京都大学）
    - コンテンツは出版会側がチョイス
    - 「新しい学術コミュニケーションを開き、研究のすそ野を広げ、研究成果の結晶としての本の意味が見直されることで『研究書離れ』を克服したい」(京大出版会)

# 個別モノ

- セルフアーカイブ＝オープンアクセスは著者の権利
  - 教員が登録するか、図書館員が代行するか
- 収集方針・運用方針
  - 公表済文献に限るか
  - 前任地で執筆した文献も対象とするか
- 共著者の意向、出版社のポリシー
- 待っているだけではコンテンツは集まらない
  - 広報
  - **まず1件入れてもらう**(そうすればわかる)
    - ピンポイントな要求 → この論文を！
    - マンツーマンな対話
    - 説明しつくすことを目指さない

# 研究者への広報・アプローチ

広く認知度を高める

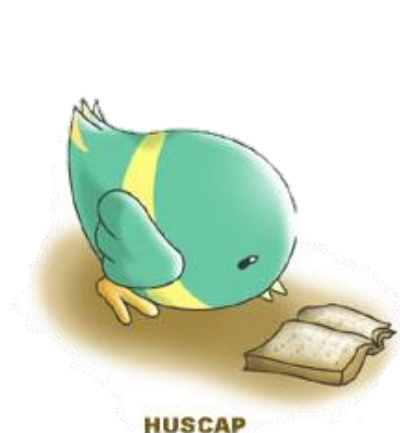


- ① 愛称、マスコット、グッズ、ちらし、ポスター、魅力ある画面・機能
- ② 説明会
- ③ 説明会の質疑応答、切り番インタビュー、個別コンタクト
- ④ 統計情報のメール通知

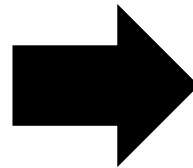
意義を知ってもらう

# ①まずともかく名前を売る

- リポジトリ？、コレクション？、アーカイブ？
- HUSCAP、CURATOR、HIR、KURA、GINMU 等  
多数（英語名称から）
- TeaPot、Barrel、紅 等



# 理解度向上よりも、認知度向上 (北大)



**研究論文、産地直送**



**HUSCAP**  
北海道大学学術成果コレクション  
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp>

北海道大学図書館蔵書情報システム課 内線 2584, 2524  
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/etaf/>

# 理解度向上よりも、認知度向上 (小樽商大)



# 理解度向上よりも、認知度向上 (筑波大)





# 理解度向上よりも、認知度向上 (奈良医大)

公立大学法人  
奈良県立医科大学

**GINMU**  
ジ ャ ム

奈良県立医科大学機関リポジトリ  
<http://ginmu.naramed-u.ac.jp>

奈良県立医科大学機関リポジトリGINMU（ジム：Global Institutional repository of Nara Medical University）とは、大学内にサーバーを設置し、本学所属の構成員が発表した学術論文などの研究成果物を、全世界にインターネットを通じ、無料で公開するものです

※読み方の由来は大学所在地である橿原市所縁の神武天皇（橿原神宮主祭神）から

**リポジトリの概況**



概念図

誕生の背景：

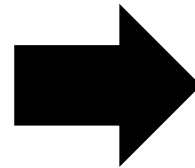
- ・学術雑誌の継続的価格上昇による、購読雑誌数の減少（シリアルズ・クライシス）
- ・それに伴う新たな学術コミュニケーションの必要性
- ・オープンアクセス化への風潮が拡大

概念：

- ・インターネットを通じ、無償で利用できる
- ・Googleなどの、検索エンジンから直接検索・閲覧が可能

現況：

- ・2009年3月現在、リポジトリは全世界1348機関で構築されています（Directory of Open Access Repositories 調べ）



**GINMU**  
Global Institutional repository of Nara Medical University  
奈良県立医科大学機関リポジトリ

学術論文 博士論文 広報  
紀要 Repository

**奈良から世界へ！**

奈良県立医科大学機関リポジトリGINMU（Global Institutional repository of Nara Medical University ※読みは「ジム」）とは、奈良医大の教職員や学生が発表した学術論文や研究発表資料（スライドなど）、博士論文などを全世界に向けて無料で公開するものです。

研究・学習成果を機関リポジトリに登録、発信することによって奈良医大で創造された知的成果を社会に対して還元することができます。

<http://ginmu.naramed-u.ac.jp/>

# 理系には発信を、文系には保存をア ピール(広島大)



→ <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

広島大学学術情報リポジトリは  
研究成果を必要とする  
すべての人へ届けます

広島大学学術情報リポジトリ (HIR) は、学内の研究者・学生のみならずの教育研究成果物を収集・蓄積・保存し、インターネットを通じて無償で世界へ発信する電子書庫です。種々のサーチエンジンを通し世界中から検索可能となることで、これまで読むことのできなかった潜在的な読者層を開拓するとともに、電子媒体として一元的・恒久的に管理することによって、研究成果の保存と、後世への継承を可能にします。ご自身の研究成果発信・保存の場として、学術情報リポジトリをご活用ください。

※2007年のダウンロード数：約16万件

論文などのコンテンツをご提供ください。

 広島大学 学術情報リポジトリ  
Hiroshima University Institutional Repository



→ <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

広島大学学術情報リポジトリは  
研究成果を  
後世に継承します

広島大学学術情報リポジトリ (HIR) は、学内の研究者・学生のみならずの教育研究成果物を収集・蓄積・保存し、インターネットを通じて無償で世界へ発信する電子書庫です。種々のサーチエンジンを通し世界中から検索可能となることで、これまで読むことのできなかった潜在的な読者層を開拓するとともに、電子媒体として一元的・恒久的に管理することによって、研究成果の保存と、後世への継承を可能にします。ご自身の研究成果発信・保存の場として、学術情報リポジトリをご活用ください。

※2007年のダウンロード数：約16万件

論文などのコンテンツをご提供ください。

 広島大学 学術情報リポジトリ  
Hiroshima University Institutional Repository

# 三角スタンド (筑大、旭医大、 北大等多数)



**重要 HUSCAP のおらい**

1. 図書館蔵書としての電子コレクション構築  
本学の研究成果を図書館資料として大切に保管し、後世へ継承します。
2. オープンアクセス化による Visibility アップ  
無料オンライン公開により、より多くの読者に、皆さまの研究成果を届けることができます。

物理学分野について、無料でオンライン公開された論文は、そうでない論文よりも被引用率が 5.6 倍高いという統計結果が公表されています。  
(Steven Harnad, Comparing the Impact of Open Access (OA) vs. Non-OA Articles in the Same Journals, D-Lib Magazine, v.10, no.6 (June 2004)  
<http://www.dlib.org/dlib/june04/harnad/06harnad.html>)

海外では Elsevier, IEEE, Springer, Wiley 等大手出版社を含む 91% のジャーナルが、掲載論文を大学サイトで公開することを許可しています。(ただし、電子ジャーナル版 PDF の公開は認めず、著者原稿の公開を認めている出版社が多いのが現状です。)



# ILL 利用者へ 意識喚起 (北大)

学外への文献複写をご利用の方へ

## あなたの研究論文を 読みたいくても 読めない人がいます

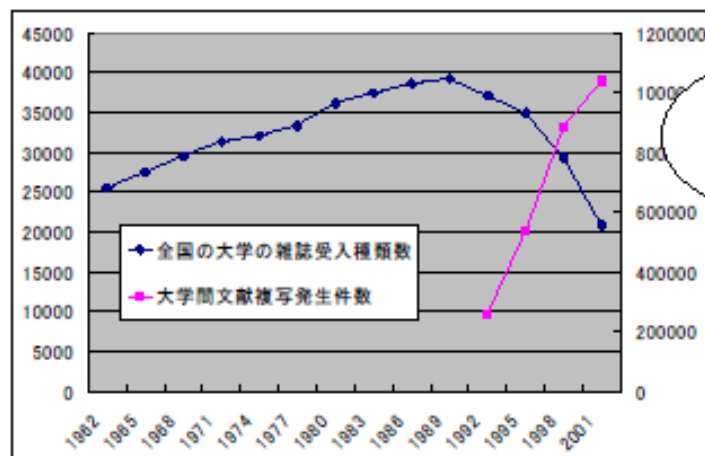
読者を増やそう！

**HUSCAP:**北海道大学学術成果コレクションの御案内

学術雑誌の価格は高騰を続けています。本学では共通経費化等の措置により、一定量のジャーナル・タイトルの購読を維持できていますが、それでも非購読誌の論文の入手にはこのように学外への文献複写に頼るしかありません。

世界の他の大学・研究機関でも研究に必要な文献の入手は非常に困難な状態になってきています。下図は、日本国内の大学における雑誌受入タイトル数と文献複写の発生数を示したものです。1980年代の終わりを境に、国内で閲覧可能なタイトルは半減しています。

あなたの研究論文を読みたいくても読めない人がいます。著作を北海道大学学術成果コレクション(添付のパンフレットを御覧ください)から公開しませんか？



どこの大学でも  
文献入手は  
たいへん



# ポケット判リーフレット(北大)



# スタッフによるブログ（東京歯科大）



東京歯科大学 学術機関リポジトリ  
**IRUCAA**  **TDC**  
Institutional Resources for Unique Collection and Academic Archives at Tokyo Dental College

Google™ カスタム検索

東京歯科大学 | 図書館

- 1 2 3 4 5.. 次の10件>>

2016年03月25日

**● Evaluation of infiltrative growth pattern in squamous cell carcinoma of the tongue: Comparison with Yamamoto-Kohama classification**

いるかです。

Ryuta Osaka, Nobuharu Yamamoto, Takeshi Nomura, Nobuo Takano, Takahiko Shibahara, Kenichi Matsuzaka

Evaluation of infiltrative growth pattern in squamous cell carcinoma of the tongue: Comparison with Yamamoto-Kohama classification.

Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, 27(2), 250-254, 2015.

DOI: 10.1016/j.ajoms.2014.10.004

☒ ウェブ ☐ 記事

トピック(67)  
要著作権調査(10)  
エンバゴ中(10)  
登録不可(9)  
公開中(303)  
出張報告(25)

2016年03月(1)  
2016年02月(11)  
2016年01月(16)  
2015年12月(3)  
2015年11月(4)  
2015年10月(3)  
2015年09月(2)  
2015年08月(2)

(<http://irucaa.seesaa.net/>)



[\(researcher.i.h.otaru-uc.ac.jp/\)](http://researcher.i.h.otaru-uc.ac.jp/)



研究者総覧  
Researcher Directory

フリーワードで探す

[詳細検索はこちら](#)

検索

## 研究者基本情報

學歷

学位

所属学協会

## 經歷

研究活動情報

## 研究分野

### 研究キーワード

論文

MISC

書籍等出版物

講演・口頭発表等

## 競爭的資金

教育活動情報

担当経験のある科目

## 研究者基本情報

Last Updated :2016

## 學歷

1. - 2004年, 神戸大学, 経営学研究科, 会計システム
2. - 1994年, 神戸大学, 経営学部

学位

1. 博士（経営学）（神戸大学）
2. 修士（経営学）（神戸大学）

所属学協会

1. 日本会計研究学会
2. 日本原価計算研究学会

## 經歷

1. 2011年10月,小樽商科大学,商学部,教授

## 研究活動情報

## 研究分野

- ## 1. 会计学

## 研究キーワード

管理會計

論文

1. テンションの調整過程と組織成果との関係に関する研究—公立病院の経営改革の事例をもとに—  
近藤隆史・乙政佐吉, 原価計算研究, 37, (2) 75 - 87, 2013年03月, 査読有り
2. わが国バランスト・スコアカード研究に関する文献分析—欧米主要会計学雑誌・実務雑誌との比較を通じて—  
河合隆治・乙政佐吉, 会計プロGRESS, (13) 112 - 124, 2012年09月, 査読有り
3. わが国製造企業におけるバランスト・スコアカードの効果に関する実証的研究  
乙政佐吉・河合隆治・原田正久, 原価計算研究, 36, (2) 38 - 50, 2011年03月, 査読有り
4. バランスト・スコアカード研究の現状と課題—実証研究のレビューに基づき検討—

DOI: <http://dx.doi.org/10.1017/S0022278X12000511>

【ヒ】テンションの調整過程と組織成果との関係に関する研究-公立病院の経営改革の事例をもとに-

## 2016-16-7.0

File / Name	Header
陈伯仁数学讲义37(2)_75-87.pdf	
陈伯仁讲义37(2)_75-87.pdf (549.29KB) [ 5 Downloads ]	

アイテムタイプ	学術論文 / Journal Article
トピック	11448
キーワード	アミノ酸、イオン交換樹脂、イオン交換、両性の物質、両性電解質、両方、両方、両方
著者	北村 昭博 1941 年
所属機関	Mitsubishi Chemical Mitsubishi Chemical
論文名	両性の物質
巻	17
号	1
ページ	75 - 87
出版年	2013-03

# 研究者への広報・アプローチ

広く認知度を高める



- ① 愛称、マスコット、グッズ、ちらし、ポスター、魅力ある画面・機能
- ② 説明会
- ③ 説明会の質疑応答、切り番インタビュー、個別コンタクト
- ④ 統計情報のメール通知

意義を知ってもらう



## ②説明会

- 説明は極力短く。質疑応答はたっぷり
  - 30分の時間をもらったのであれば、10分で説明、20分を質疑応答に充てる
- 能書きよりも、何をしてほしいのかを明確に
- スケジュールをはっきり
- 完全な理解を求めない
  - 一方的なプレゼンテーションだけで理解してもらうことは不可能。**質疑こそが説明会の中心**

# いつ、どのように？

- 聞いた人がすぐに手を動かせる時期
- 1-2件でも本物のコンテンツを見せると効果的
  - なければ近隣大学の実稼動版を見せる
  - 「デモンストレーション用のデータベースを構築する際に重要なことは、「本物の」コンテンツを使うことである。」(エジンバラ大学、ノッティンガム大学)
- 自由参加型(参加者数は期待薄)
  - 閉会后、個別ヒアリングしやすい(後述)
- 別の集合機会の一部を充てる
  - 教授会などにお邪魔する
  - 情報リテラシーのついで、DB講習会の最後

# 一つの方法として

- 紀要の投入時期を遅らせる



- 教員個人個人の協力が求められているということが明確に伝わる

- 「紀要を電子化する話か、**僕には関係ないや**」
- 「えー、**ひとりひとりが文献を出す**のか、めんどくさいな」(=めんどくさいと感じても、意図は伝わる)

# 研究者への広報・アプローチ

広く認知度を高める



- ① 愛称、マスコット、グッズ、ちらし、ポスター、魅力ある画面・機能
- ② 説明会
- ③ 説明会の質疑応答、個別コンタクト（切り番インタビュー、この論文をくださいメール）
- ④ 統計情報のメール通知

意義を知ってもらう

# きっかけはいろいろ

- 説明会が終わった後、その場で
  - 「さっきのご質問なんですが、実際のところは…」
- 切り番インタビュー
  - 掲載論文について著者にインタビュー
- 研究室に訪問
  - 「5分10分で結構です」
    - 実際には、時間と話題の続く限り、快くつきあってもらえるケースが大半。最長2時間（北海道大学）
- 「この論文をください」メール



小樽商科大学  
小樽商科大学附属図書館  
小樽商科大学研究者総覧

トップページ Barrelとは 学内の方へ

## お知らせ

2016年2月15日 JAIRO Cloud上で本サイトの公開を開始しました

>>続きを読む

各コンテンツの引用にはコンテンツ詳細画面右上のPermalink (http://hdl.handle.net/10252/----) をURLとしてご使用ください

### 登録コンテンツ

トップ ランキング

品 検索  
●全文検索 ○キーワード検索

### Language

日本語

### インデックスツリー

- 商学討究
- 人文研究
- 言語センター広報
- CBCディスカッションペーパー
- その他紀要・報告書等
- 小樽商科大学百年史
- 学位論文
- 雑誌論文・図書等
- 科研費報告書
- 講義資料
- 研究者名
- 附属図書館

### 最も閲覧されたアイテム

- 373 [ドメイン研究の源流 ― 榊原清則先生に聞く ―](#)
- 166 [アクティブラーニングの学習効果に関する検証\(2\)― 学習者の自尊感情が社会人基礎力の獲得に及ぼす影響に注目して ―](#)
- 116 [高度専門職業人としての医師のマネジメントに関する研究 ―バランスト・スコアカードの導入・実践に着目して―](#)

### 最もダウンロードされたアイテム

- 425 [D.H.ロビンソンの小説と時間\(BLA\\_01\\_271-285.pdf\)](#)

### 記念インタビュー

- 4800件目 [坂東雄介先生 国籍の役割と国民の範囲-アメリカ合衆国における「市民権」の検討を通じて\(7・完\)](#)
- 4700件目 [北川泰治郎先生 外部機関との連携事業を構築するネットワークの存在-社会関係資本論からネットワークを考察する-](#)
- 4600件目 [小林敏彦先生 平成25年度検定済新英語教科書の口語表現のオーセンティシティ検証と5つの緊急提言](#)
- 4400件目 [杉村泰教先生 A Reconsideration of Oa the Earth Goddess in William Golding's "The Inheritors"](#)
- 4300件目 [田林洋一先生 スペイン語の動詞と構文が持つ他動性に関する認知言語学的考察：文法形式と意味との乖離を巡って](#)
- 4200件目 [片岡正光名誉教授 ヨウ化物イオン電極によるバナジウム\(IV\)の接触分析](#)
- 4100件目 [国武英生先生 1998年公益情報開示法をめぐる裁判例の動向と運用状況](#)
- 4000件目 [江頭進先生 ハイエクの人間像](#)

記念インタビュー一覧

### 関連リンク

機関リポジトリ関連

平成28年度機関リポジトリ新任担当者研修

# 個別コンタクト

- 説得しに行くわけではなく、話を聞きに行く
  - 研究について、投稿雑誌について、OAについて、図書館について → **図書館活動全体にとって有益**
- きっかけは何でも
  - 質問が来たら、会いに行く
  - 「ご意見について、もう少し詳しく助言をいただきたい」
  - ファイルが送れない「USBメモリ持って今から伺います」
  - 図書館でこんなことを考えている、アドバイスほしい
  - 先生が読んでいる雑誌や投稿する雑誌について教えてほしい
  - ILLで、カウンターで、コピー機で、道端で(研究室を訪問しなくても)

# 個別コンタクト・質疑応答の準備

- 予備知識
  - 相手のこと。発表論文等
  - 相手の研究分野の主な出版社ポリシー
  - 雑誌危機（購入雑誌タイトル、EJ予算）
  - インパクトファクター
  - オープンアクセスジャーナル、APC
  - 海外の情勢（NIH、英米議会、義務化）
  - 日本の状況（日本のIR数、先行大学のやり方）
- こわがらずに誠実に熱意を持って



# 個別コンタクトの企画

- 誰から？
  - トップから
    - (事例) 学位授与式のあいさつで話題に
  - 身近な先生から
    - 「いいとも作戦」(北大)、お昼に生協で(兵庫教育大)
  - 全員！(帯広畜産大)
- いつ行くか？
  - 構築前
    - (事例) 運用方式、構築の参考に
  - 構築後

# DRFサイトに質疑応答集もあります

<b>リポジトリをつくる</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 名古屋大学(右記中の「著作権許諾書式」) <a href="http://info.nul.nagoya-u.ac.jp/info/">http://info.nul.nagoya-u.ac.jp/info/</a></li><li>■ 九州大学 <a href="http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drfrm/msg00149.html">http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drfrm/msg00149.html</a> <a href="http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drfrm/msg00169.html">http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drfrm/msg00169.html</a></li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>» リポジトリをつくる</li><li>» 各機関運用指針一覧</li><li>» リポジトリシステムを試す</li><li>» 事例報告集</li></ul>	<b>▶ 質疑応答・FAQなど</b>
<b>リポジトリを育てる</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 学内研究者向け説明会質疑応答集(北海道大学) 📎 <a href="#">Hokudai_QA.xls</a></li><li>■ 学内研究者向け説明会質疑応答集(三重大学・20070110差替え) 📎 <a href="#">Miedai_QA20070110.xls</a></li><li>■ <a href="http://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/faq.html">http://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/faq.html</a>(東京大学)</li><li>■ <a href="http://info.nul.nagoya-u.ac.jp/info/index.php/FAQ">http://info.nul.nagoya-u.ac.jp/info/index.php/FAQ</a>(名古屋大学)</li><li>■ <a href="http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/portal/main/faq.html">http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/portal/main/faq.html</a>(広島大学)</li><li>■ <a href="https://qir.kyushu-u.ac.jp/info/index.php?FAQ">https://qir.kyushu-u.ac.jp/info/index.php?FAQ</a>(九州大学)</li><li>■ 学内研究者向け説明会質疑応答集(金沢大学, 平成18年度教授会) 📎 <a href="#">kura_qa2006.pdf</a></li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>» リポジトリを育てる</li><li>» 実務のための関連資料</li><li>» 技術関連情報</li><li>» 運用議論あれこれ</li></ul>	<b>▶ 論文投稿とIR登録の関係</b>
<b>さらに深く知る</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 機関リポジトリと著作権(北海道大学) 📎 <a href="#">H18ポータル研修著作権北大.ppt</a></li><li>■ 論文投稿とIR登録の関係図 📎 <a href="#">論文投稿とIR登録の関係図20061222.ppt</a> 📎 <a href="#">論文投稿とIR登録の関係図20061227.ppt</a></li><li>■ <a href="http://www.sherpa.ac.uk/romeo.php">http://www.sherpa.ac.uk/romeo.php</a>(SHERPA/RoMEO)</li><li>■ Sherpa Romeo Widget: <a href="http://www.rwidgets.co.uk/wiki/doku.php?id=wiki:romeo">http://www.rwidgets.co.uk/wiki/doku.php?id=wiki:romeo</a></li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>» もっと知りたいリポジトリ</li><li>» DRFPedia(用語集)</li><li>» 関連資料集</li><li>» リポジトリ関連報道一覧</li><li>» リンク集</li></ul>	
	
<b>recent(8)</b> <b>2015-02-02</b> » DRF Monthly	

# 「この論文をください」

- 参加してもらえば、意義がわかるはず！
- 「何でもいいからください」ではなく「先生がここに書いたこの論文をください」
  - 文献情報DB検索結果から、研究業績から
  - サイエンスカフェ、市民講座、講演会
  - ニューズな論文（iPS細胞、ノーベル賞（京大））
  - たまたま見かけた論文、ILLで受付けた文献
  - 出版社版IR掲載OKの文献

# 文献情報DB検索から

- 検索をルーチンワークにする
  - 毎週〇曜に所属研究者が書いた論文をDBで検索して、著作権ポリシーを調べ、個別にメールで依頼する
  - アラート機能を使い都度、個別にメール依頼
  - Web of Science, Scopus, 医中誌web, PubMed等

# (参考)Scopusを使った金沢大の場合

- 毎月1～2回、以下の検索式で検索し、結果をCSVで保存
  - 「著者所属機関」を選択し、「(“kanazawa univ”) OR (“kanazawa university”) OR (“kanazawa uni”)」を入力
  - 期間指定は、「過去7日以内」を選択
  - 文献タイプは「全タイプ」を選択
  - 分野は「ライフサイエンス」「社会科学」など全てにチェック

## (参考)PubMedを使った東京歯大の場合

- 以下の方法で、毎週、検索結果がメールで送られるように設定
  - PubMed右上Sign in NCBI から所属「google」、メールアドレスをGmailでID登録
  - Gmailにメールが来るのでクリックしID登録完了
  - PubMedのadvanced検索画面で、「Affiliation」を選択し「tokyo dental college」を入力し「Search」
  - 上部の「Save Search」をクリックし、「weekly」「Monday」「20items」に変更し、Saveをクリック

# 研究者への広報・アプローチ

広く認知度を高める



- ① 愛称、マスコット、グッズ、ちらし、ポスター、魅力ある画面・機能
- ② 説明会
- ③ 説明会の質疑応答、切り番インタビュー、個別コンタクト
- ④ 統計情報のメール通知

意義を知ってもらう

# ④統計情報のメール通知

- 各文献のダウンロード回数を月次で提供者にメール通知

北大、樽大、筑大、北陸先端大  
などで実装

- 意義の実証

共著者にも!

- 「意外なところで、あるいは反対にもっともな所で読まれていたりして、大変興味深く、かつ今後の刺激になるデータです。今後とも楽しみにしております。」

Barrelご提供文献の閲覧状況(2008年〇月)

〇〇先生

日頃より附属図書館の事業にご協力頂き.....

附属図書館では、「小樽商科大学.....(Barrel)」に著作を提供下さったみなさまへ、月1回、閲覧状況をお知らせしています。

以下は、文献ごとの閲覧回数です。より詳しい内容もご提供できますので、ご希望の方は....

※詳細版の内容はドメイン別の閲覧回数です。  
.edu(米国教育機関)から何回、.otaru-uc.ac.jp(小樽商大内)から何回、といった内容になります。

来月以降こうした通知が不用であれば.....

【2008年〇月 文献別被閲覧回数】

○ダウンロード XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

○ダウンロード XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

:



# 研究者への広報・アプローチ

広く認知度を高める



- ① 愛称、マスコット、グッズ、ちらし、ポスター、魅力ある画面・機能
- ② 説明会
- ③ 説明会の質疑応答、切り番インタビュー、個別コンタクト
- ④ 統計情報のメール通知

意義を知ってもらう

# 全部やる！

- ともかく名前を売らなければはじまらない
  - しかしちらしはスパムどまり
  - 説明会はうまくいけば、効率よく広報できる
  - 個別コンタクトは時間がかかる
- 
- うまく組み合わせて  
全部やる！



# “隠れた最大のメリット”（再掲）

図書館自らが率先してコンテンツかき集め戦略を立てて、実行に移さないかぎりには、IRのコンテンツが増え続けることはない。もし図書館がこの仕事を軽視したり放棄するのであれば、それはまともなIRであることを捨てる行為に等しい。

- － 阿蘇品治夫「機関リポジトリを軌道に乗せるために為すべき仕事」  
[http://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/48/8/48\\_8\\_496/\\_pdf](http://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/48/8/48_8_496/_pdf)

図書館が中心となって機関リポジトリを推進することの図書館にとっての隠れた最大のメリットというか恩恵というか楽しみは発信者（著者）としての教員（研究者）と身近に接し、そこからこれまでになかった新たな図書館サービスのヒントを得られることではないか

- － 尾城孝一（国立情報学研究所（当時））  
<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf-ml/100/194.html>

# 模擬説明会

- いまから皆さんは先生になったつもりで、聞いてください。